

新たな仲間たち

今年の春、薬局に空気清浄機が仲間入りしました。空気清浄器なのに“仲間入り”ってどういうこと？と思われるでしょう。不思議ですが、家電なのに、まるで人がいるように思えてくるのです。

そもそも薬局に空気清浄器が“仲間入り”した経緯ですが、薬局では粉薬を取り扱うことその他、衛生面を考慮して空気清浄機を設置してもらいました。私事ですが、春は毎年花粉症に悩まされていまして、工作中、集中力を欠くことから解放されて、大変助かっています。さて、この空気清浄器ですが、動いている最中に「空気の汚れ、見つけました。」とか「急いで綺麗にしますね。」とか女性の声で話かけてくるのです。朝には、電源を入れると「頑張ります」と声を出し、まるで薬局にもう一人スタッフがいて仕事をしてきているような気分させてくれます。さらに、“仲間入り”した空気清浄機には先輩がいます。それはロボット掃除機です。こちらは喋らない家電なので

すが、1年前に薬局に“仲間入り”して、毎日予約している時間に動き出し、薬局の中の床を縦横無尽に動き回って掃除してくれます。そして、ある程度時間が経つと、自分の部屋（充電器）に自ら戻っていくのです。平日の夕方に掃除するよう予約していますので、1日の業務が終わる前の時間帯に一生懸命働いてくれています。掃除機なのに何



次ページへ続く▶

目次	新たな仲間たち	薬剤科長	熊谷 学
	正しく靴を履く大切さ	義肢装具士	田中 智博
	看護功労賞受賞にあたり	看護師	渡邊 一子
	ウォーキングマップとめに掲載されました	庶務係長	名生 和彦
	行事・イベントの紹介	医療社会事業専門員	澤田 佑子

理 念

入所者の人権を尊重し、
安心で安全な生活を提供します

基本方針

1. 快適な療養・生活環境を提供します
2. 安心で信頼される医療の充実に努めます
3. やさしい看護と介護を提供します
4. ハンセン病の正しい知識の啓発普及に努めます
5. 職員の教育・研修に努めます

入所者の権利

当園では、園の理念に基づき、入所者のみなさまの

- 人格を尊重される権利
- 良質な医療を受ける権利
- 十分な説明と情報を受ける権利
- 自己決定の権利
- プライバシーが保護される権利

を尊重します。



故か愛着を感じていますので、不思議なものです。

今後、このような便利で人の様なロボット製品が、職場や生活の場にどんどん入ってくるでしょう。近い将来、新生園でも様々なところでロボットが活躍をしているかもしれません。

ここ数年、人工知能（AI）が、将棋や囲碁の対局において著名なプロ棋士に勝利するというニュースが流れています。私は人工知能についても将棋・囲碁についても専門ではありませんので、詳しいことは良く分かりませんが、対局を確率的に考えてみても、衝撃的な出来事であることは想像が付きまします。今後、人間の知能をはるかに上回っていくことになるかもしれません。

「人工知能やロボット等に置き換わる職業」等の記事を見ていると、自分たちのしている仕事も、いつかはロボットに取って替わられてしまうかもしれない・・・なんて考えてしまいます。

何と企業の中には、実際に採用業務に人工知能を使う動きが出てきているようです。採用担当者の経験や勘に頼らず、決められた採用基準に沿った選定がされるとのことです。

医療の世界ではどうでしょうか。私は少し前までは医療職がロボットにとって変わられることは少ないのではと考えていましたが、実際に人手不足からロボットや人工知能を活用する実証実験が進んでいるようですから、寝ない、食べない、休まない、正確に業務を行う人工知能・ロボット

は、いつの日か、私たちの仕事の多くを代行することになるでしょう。

薬を取り巻く世界でも容易に想像できます。私のような白衣を着た怖そうなおじさんが、子供の患者さんに「ちゃんと薬をのまなきゃだめだよ」と諭すよりも、テレビアニメに出てくる正義の味方や、憧れのプロスポーツ選手の姿をしたロボットから「良い子はしっかりお薬を飲まない」とやさしく言われたら、きっと喜んで薬を飲むかもしれません。大人だって例外ではありません。好みの俳優さんや女優さんの声と姿をしたロボットに服薬の説明をされたら、そして個人個人の困り事にも答えを出してくれたら、多くの人が頼りにするでしょう。

もちろん仕事の責任という点においては、最終的に“人”が担うことにはなりますが、様々な判断材料については、人工知能に依存してしまうことが多くなるかもしれません。

ただ、この様な状況が進むと、職場でスタッフを指導していく立場の私としては少々悩ましくもあり、指導する私自身が人工知能と競合した場合、仕事を引き渡す方が合理的なのでは・・・と思考の中だけですが、アポトーシスを起こすこともあります。

概して、技術の進歩に伴いその弊害を心配する声も聞こえてきますが、私が子供の頃、わくわくしながら見ていた漫画やSF映画の様に、人工知能やロボットと“人”が楽しく共存共栄する未来が来ることを願ってやみません。

今後、地域の包括的な支援やサービスの提供体制を構築していく上で、人工知能やロボットも地域の一員として協働する仲間になり、私たち“人”を最大限サポートしてくれたら、とても素敵なことだと思いますが、皆さんはどう思われるでしょうか。

正しく靴を履く大切さ

最も身近にある装具と言ってもいい靴についてお話しさせていただきます。

冒頭にも靴を装具と言いましたが、なぜだか想像つきますか？

答えをお話する前に、まず装具を着けるとなぜ治るのか。その仕組みについて簡単にお話致します。

どんな装具にも言えますが、装着することで痛めた部位や生活上不便な事を軽減してくれます。

例えば、体重のかかりが強い足裏の箇所には、**たこ**や傷がよくできます。これを治すには強く体重がかかっている**たこ**や傷の負担を減らし、体重があまりかかっていない他の部分へ体重がかかるように足底板と言う装具を使って調整します。

体重のかかり方を変える事で、**たこ**や傷の負担は軽くなり治す為の余力が生まれます。

しかし、装具（足底板）は、**たこ**や傷への負担を軽くしてくれますが、直接治す為の物では無く負担を減らす事しかできないと言う事を知っておいて下さい。

なぜなら、負担を減らし痛みがなくなったからと無理をするとなかなか完治しにくくなります。

ちょっと考え方を変えてみましょう、皆さん熱が出て苦しい時に薬で熱が下がったからといってすぐ歩き回る人はいないと思います

それは歩き回ってしまえば、また悪化して熱が上がり苦しくなる事が想像つくので、先生から頂いたお薬を飲んで安静にして治すと思います。

装具も同じで、治す余力を使ってしまえば、なかなか治りません。

又、せっかく装具を装着しても正しく使用出来ていなければ負担をとる事は出来ません。

それでは、冒頭の話である靴はどうでしょうか。

ちょっとそこまでだからと靴の踵を踏んだまま履いていませんか？

どんな良い装具を装着しても必ず地面に着くのは靴です。靴が安定していなければ、いくら良い装具であっても効果を発揮できません。

先ほどお話しした足底板も靴の踵を踏んで履いてしまうと、位置がずれてしまい効果が発揮できません。

他の装具も同様に、腰のコルセット・膝のサポータ・足首のサポータなど靴が、ぐらぐらと安定していなければ、みな効果を発揮する事ができません。

靴の大切さがわかって頂けたでしょうか？

装具の効果を発揮する為に、正しく靴を履く大切さをお話ししました。

装具なんて着けてない！まだまだ元気！と言う方も自分に合っている靴を正しく使用するだけで、腰や膝が安定し痛みなどが起こりにくくなりますので、装具を使用していない方も正しく靴を履いて頂けると予防になり未来の自分を助ける事になります。

靴を正しく履くのに5分・10分それ以上かかる方もいらっしゃると思います。けれど正しく靴を履き転倒の危険や痛みを予防できる靴は、どんな装具士が製作する装具より優れていると思います。

靴の履き方が悪かったと思った方は、この機会にぜひ正しく靴を履かれてみてはいかがでしょうか。

看護功労受賞にあたり



私は、第1メープルケアセンター3階に勤務しており、退職後も再任用で皆様に支えられながら、今に至っております。去る5月11日に、平成29年度「看護の日」知事表彰式に行かせていただきました。受賞1ヶ月程前に、総看護師長さんから、このお話をいただきました。何で私が・・・という思いが致しましたので、つい「私は実績も肩書もないですし頂ける理由はないです。」とその場で申しましたところ、「こうして退職してから

も、長く患者さんのために働いているからですよ。」と、のこと。何とも複雑な気持ちでしたが、推薦が通ればとのことでした。胸の内では（たぶん駄目でしょう、でもなー、もしや、もしかして・・・）という半ばその気になろうとしている嫌な自分がいました。

式の当日、普段ラフな格好でいるため慣れないスーツと靴で、朝から緊張でした。県庁四階、特別会議室でいよいよ表彰式が始まります。他の受賞者に圧倒されそうな雰囲気が益々緊張を高めました。冒頭に係の方が、「17名の推薦がありました。皆さんは選ばれた12名です。」の言葉に（私はここに居ていいの？）戸惑いを感じましたが、（何言ってるの、堂々と受賞すべしと）気持ちが居座りました。看護功労受賞者11名、看護教育功労受賞者1名計12名は、一人ずつ山田副知事から表彰されました。

私は歩く足元がふらついて、今にも足が絡み転ぶのではないかと必死でした。その後、係の方から「一人ずつ何か感想を話して下さい。」と言われ何を話せばいいのか考え“当園の入所者さんは、一般社会から隔離され、その後一生同じ場所で60年、70年以上生活しなければならなかった。世間ではハンセン病のことを理解されてきているが、やはり差別は今もある。私達はスタッフであることはもちろんですが、長く勤めていると家族にはなれないが、家族のような思いはある。入所者さんは高齢になるに従い、徐々に体力がなくなり、寝たきりや認知症になっていく。認知症は全ての記憶が無くなるわけではない。ある日、私は入所者さんと廊下ですれ違いに声を掛けたら「あんた、見たことあるなあ、名前は忘れた、長く勤めているよねー」と笑顔で私の手を握られた。この言葉と笑顔はとても嬉しいもので、見慣れた顔は相手にとってホットさせたのだろうかという思いがあった。だから、最後まで見守り、寄り添っていけるようにしていきたい。”といった内容のことを話した声が上がって震えるのを感じました。大したことは言えず後悔しました。

改めて「看護の日」を思う時、5月12日は近代看護教育の母であるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日を「看護の日」として毎年全国的にも看護に関するイベントや様々な活動が行われています。当園でも病棟・各センターで工夫した作品を作成しています。私は毎年、看護週間で思い出すのは苦勞して暗記した「ナイチンゲール誓詞」です。時が経つと思い出して言うこともなく、苦勞して覚えたなあだけが思い出します。これからは、看護師である以上時々思い出して、看護とは何かと自分に問って行きたいです。

最後に、推薦していただきました横田園長先生を初め、上司・同僚の皆さん、菅原総看護師長さん、楓会久保会長さんに感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

ウォーキングマップとめに掲載されました

第9号で紹介した当園の「ウォーキングマップしんせい」が宮城県登米市の「ウォーキングマップとめ」に15番目のコースとして掲載されましたので、ご紹介いたします。

登米市では、気軽に始められる健康づくりの運動としてウォーキングを推進し、そのツールとして「ウォーキングマップとめ」を作成しております。

平成29年6月現在16コースがあり、登米市内の美しい自然や名所などを楽しめるように設定され、その中ではスマホと連動したアプリ「登米市オリジナル歩き旅」も紹介されていますので、詳しくは登米市のホームページをご覧ください。

当園では、ウォーキングコースを完走された方には、もれなく特製ハブラシ（お年寄り用、お子様用もありますよ）を差し上げております。

また、希望される方には当園歯科衛生士によるブラッシング指導も行っておりますので、是非お気軽にお越しいただき、当園の爽やかな環境をお楽しみください。

庶務係長 名生和彦



観桜会行事を開催しました



平成 29 年 4 月 12 日より観桜会行事を開催しました。

以前はミニゴルフや魚釣り大会も行われていましたが、現在は夜

桜のライトアップや抽選会、そして今年度は福社会館にてしんせい茶房も開設されました。例年のライトアップでは睦橋周辺に提灯等が装飾され、4月12日～23日の夜9時まで点灯しています。

期間中は、福社会館にて縁側で石庭を眺めながらお茶を楽しむことも出来ます。カフェのようなメニュー表から注文すると、法被を着用した職員から飲み物や季節を感じる和菓子が参加者に振舞われました。

また、当園の桜の様子は朝日新聞と東日本放送の共同企画により、物故者の鎮魂の意味を込め、千本桜の里を目指して植樹されてきた経緯についてもテレビ取材されました。



春期バス旅行を実施しました

平成 29 年 5 月 30 日、春期バス旅行を実施しました。

年 2 回開催されているバス旅行の内、春は海の方面へ向かっており、本年は塩釜仲卸市場、海鮮せんべい塩竈、松島観光物産館の 3 ヶ所を巡りました。

出発前には「体調を崩していたがバス旅行へ行く為に早く良くなろうと頑張った」と仰る方もいらっしゃいました。当日バスの車内では、地元の神社や昔にあったお店の場所の詳細まで、数十年ぶりで懐かしいと道中会話も弾んでいます。

塩釜では仲卸市場の活気溢れる場内で新鮮な海産物を各々購入され、海鮮せんべい塩竈にて名物のイカ焼きや、種類の多い煎餅を試食しながら選んでおられました。

その後は松島に向かい、昼食を挟み自由に観光の時間となります。夏日のような暑さによりソフトクリームを召し上がる方や、観光地の五大堂を見学し俳句にされる方等、入所者の皆様に思い思いの時間を過ごしていただいた 1 日となりました。



宮城県庁のパネル展を観覧しました

平成 29 年 6 月 23 日、宮城県庁にて開催されている「ハンセン病を理解するためのパネル展・ビデオ上映会」を観覧いたしました。

宮城県と宮城ハンセン協会の主催で、ハンセン病の基礎知識や歴史、当園の様子が平日 1 週間の期間で紹介されています。



パネル展の見学としては平成 13 年頃より始まっており、本年は当園の現状に焦点を当て、地域の皆様に知っていただきたいという自治会の意向から、特に年間行事の写真を多く取り上げました。

県庁を出発後は仙台市の青葉城本丸会館にて見学と食事を取り帰園いたしました。



第 34 回高松宮記念杯近隣親善ゲートボール大会が開催されました

平成 29 年 6 月 28 日、ゲートボール大会が執り行われ、50 チームで約 300 名が参加されました。

本大会は昭和 59 年 6 月 28 日の高松宮両殿下お成りの記念に高松杯を御下賜されたもので、「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に合わせて親睦を図ることを目的に実施しています。

当日は地域の皆様を始め、新生園チームの職員も入所者の方々のご指導の上に練習を重ねて日頃の成果を発揮されました。昨年は雨模様で肌寒く感じる大会でしたが、晴天のもと試合は進行し、一関千厩チームが 2 年連続優勝と輝かしい成績を収められました。



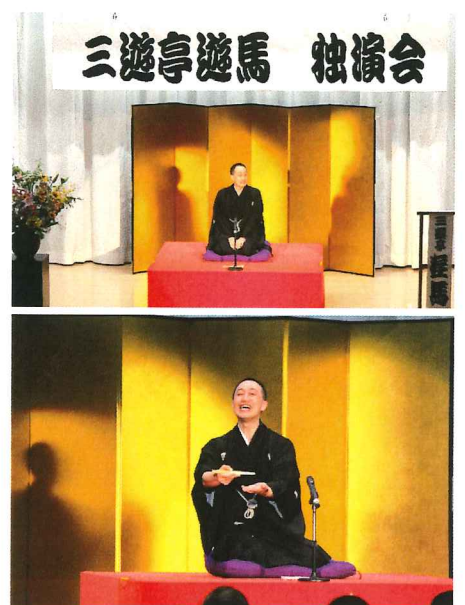
三遊亭遊馬師匠の独演会を開催しました

平成 29 年 6 月 29 日、三遊亭遊馬師匠をお招きし、第 3 回目となる落語会を開催いたしました。

開演前より入所者の方々や職員、地域の皆様で満席となり、会場内は熱気に溢れる中、扇子や手ぬぐいの用途等の小話後に二席設けていただきました。一席目の「青菜」では、植木屋職人がお屋敷の主人宅で聞いた会話を友人の前でそのまま繰り返してしまう滑稽なお話や、次席の「酢豆腐」では、町の若い衆が若旦那に傷んだ豆腐を食べさせるといった夏に相応しい演目をご披露下さり笑いに包まれました。

当園の公演後には登米祝祭劇場にて夜公演をされています。

医療社会事業専門員 澤田 佑子



職員募集

当園では、次のとおり職員を募集しております。採用を希望する方はお気軽にお問い合わせください。

1. 採用職種
 - ①看護師 ②看護助手
- 1) 身分
 - ①定員職員 ②期間業務職員
- 2) 採用予定期間及び採用人員
 - ①採用の日～ 6名
 - ②採用の日～ H30.3.31 8名
(年度更新)
- 3) 応募資格
 - ①看護師免許取得者 ②経験・資格不問(どなたでも応募できます。)
- 4) 勤務内容
 - ①看護業務(三交替制、早出・遅出有り)②介護業務(日勤、早出・遅出有り)
 - ①②1日あたり 7時間45分 週38時間45分勤務
- 5) 加入保険等
 - ①共済保険、厚生年金 ②協会けんぽ、厚生年金 に加入
 - ※②の職員は、1年経過後から共済保険に加入となります。
- 6) 応募方法

市販の履歴書に写真貼付、看護師は免許証(写)を郵送又は持参
豊かな自然に恵まれ、四季折々の行事、数々の訪問行事を行っておりますので、
入所者の皆さんと関わり合いながら楽しみながら当園で働いてみませんか。
看護・介護の研修体制も充実しておりますので、
初めての方も心配なく安心して働くことができます。
興味のある方は、当園のホームページに、看護課の方針、看護体制、研修計画、
処遇等を掲載しておりますので是非ご覧いただき、お気軽にお問い合わせください。
- 7) お問い合わせ、応募先

〒989-4692 宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1
国立療養所東北新生園
TEL 0228-38-2121 FAX 0228-38-3765
E-mail 2302sy01@sinseien.nhds.go.jp



入所者数の推移

年度	入所者数			退所者数					平均入所者数
	再	新	計	軽快	死亡	転園	その他	計	
19			0		7			7	148.4
20			0		10			10	139.9
21			0		2			2	135.2
22			0		10			10	129.4
23			0		14			14	118.0
24			0		11			11	105.1
25			0		10			10	95.3
26			0		4			4	86.7
27			0	2	9			11	79.6
28			0		3			3	71.5



発行元 国立療養所東北新生園
National Sanatorium Tohokushinseien

発行責任者 国立療養所東北新生園
広報誌編集委員会

〒989-4692
宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1 番地
TEL 0228-38-2121 FAX 0228-38-3765
URL <http://www.nhds.go.jp/sinseien/>
E-mail admin@sinseien.nhds.go.jp